



2020年4月7日  
株式会社立花商店  
生田

## (新) 週刊カカオニュース 8号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

本日のブレイキングニュースで英国首相のジョンソン氏が集中治療室に入ったと報じられました。昨日 NY 州での1日当たりの死亡者数が初めて減ったことで、米国市場では、株高から始まり、NY カカオ、LDN カカオも大きく相場価格が上昇しました。

一方、上記のジョンソン氏のニュースが入った途端にポンド安の局面です。投資家はコロナショックで一時的にリスク回避で投資ポジションを整理して、現在は手元のキャッシュリッチの状態です。そして新たな投資タイミングを狙っていて、昨日のような局面では買いに入ります。コロナが大変な中でも金融市場は休まないという現実を毎日見ていると、個人的には常に利益を追求する投資行動に今は少し寂しい気がしてしまいます。

### 1 特集) ガーナの現在の状況について \*弊社ガーナ駐在 (石本) よりのレポート

・ コロナ関係情報 2020/04/05 現在のコロナ感染者に関する情報

- 感染者数 : 214 名
- 死亡者数 : 5 名
- 重篤者数 : 2 名
- 回復者数 : 3 名

#### 《トピックス》

・ Ecom Ghana が 120 万個の石鹼をカカオ農家向けに COCOBOD を通して寄付。(4/4)

<https://www.peacefmonline.com/pages/local/news/202004/404566.php>

・ Eastern 州における主要な 7 つのローカルマーケットを消毒。(4/4)

<https://www.modernghana.com/news/993582/covid-19-disinfection-of-eastern-regional-markets.html>

・ 食料品を積んだトラックがガーナ中部の Techiman で足止め。(4/4)

<https://www.modernghana.com/news/993495/cargo-with-foodstuff-grounded-at-techiman-market.html>

・ 在ガーナ日本国大使館からのメールの引用

4月4日(土)、ンクルマ情報大臣は、アクフォ＝アド大統領が、大統領令により、3月22日(日)24時から2週間にわたって実施されている人の移動を止めるための陸海空のすべての国境封鎖措置を、4月5日(日)24時から、さらに2週間にわたって延長することを決定した、と発表しました。

(ンクルマ情報大臣の Twitter での発表は以下のリンクをご参照ください。)

(<https://twitter.com/konkrumah/status/1246381394395267072>)

#### 《街の様子について》

現在、食料品・医療品の調達、銀行などの他、不要不急の外出は政府により禁止されている為、街は閑散としています。普段は信号のある交差点に沢山いる物売り達もおらず、またローカルマーケットでも食品を販売しているショップやフードベンダー以外はオープンしていない状況です。レストランなどもテイクアウト専用で動いて

いる所が殆どであり、一部レストラン・ホテルは営業をストップしている所もあるようです。

4/4 より、外出理由が明確でないものについては、警察に逮捕され、罰金 GHS12,000~60,000(24 万~120 万円程)が課される事となりました。ガーナ人の知人も 4/4 以前ではありますが、警察に逮捕され、6000ghs(12 万円程)を支払ったという事です。

トトロ(乗合バス)やタクシーも殆ど見かけなくなりました。現在移動している人は自家用車または Uber(小さい車は乗客 1 人まで、大きめの車は 2 人まで)を使っている人が多いようです。

ショッピングモールでは、食料品店と通信・銀行関係以外は全て閉鎖されており、こちらもお客さんが少なく閑散としていました。食料品店では、野菜、肉、乳製品、缶詰なども通常と変わらない品揃えであり、値上げなどもないようでした。



\*スーパーなどでは、入店時に消毒と手袋をして商品を取るように指示する店もあります。基本的には、入店時に石鹸で手洗い+エタノール消毒となります。



いつもは沢山の物売りがいる交差点ですが、ロックダウン以降一人も見かけません。



ショッピングモールの中は閑散としており、宝飾品などの店は、店内の品物を回収してあり空っぽになっていました。



ショッピングモールでは、肉や野菜、乳製品などが十分な量販売されています。



ガーナのアルコール製造メーカーのカサプレコム、不足しがちであったエタノール消毒の製造を開始しました。ロックダウン直前は品薄だったエタノール消毒も、現在では十分購入できるようになりました。一方で、マスクは未だに入手困難であり、一枚 100 円程度で販売されているそうです。

## 2、弊社の主要な取引先などの出荷に関する状況(4/7)

コロナウィルスの影響が世界中に広まっており、各国で入国制限、都市封鎖、移動制限など様々な対策が講じられております。

弊社がこれまでに把握しているカカオ豆、ココア製品の輸出状況に関する情報を簡単に取りまとめます。

### ① ガーナ

ガーナは3月29日から先週の国境封鎖より更に一步強制力のある【ロックダウン】といわれる都市封鎖状態に入りました。それに伴い、ガーナの港である Tema, Takoradi の輸入輸出の制限が発表されました。

輸出：基本的に制限なしで通常通り

輸入：指定品目の商品カテゴリーは継続、それ以外は一時停止。

首都のアクラでは、食料品の買い付け、銀行への移動など生活に必要な行動以外は外出禁止、企業活動も一部の必要な産業を除いて、自宅勤務となった模様。

### COCOA BOD 直轄組織 (=政府系組織)

#### a) Cocoa Marketing company :

カカオ豆の日本向け輸出は港にある在庫分は現在止まっておらず継続していますが、営業部隊や船積み管理の部署などは30日の月曜日からは基本自宅勤務という縛りの中で、どの程度の稼働率になるかはわかりません。相応に人数が減ると思われます。

#### b) Quality Control Company(QCC) :

日本向けの農薬検査を含むすべての品質検査を行う部署である QCC (Quality Control Company) の方は、月曜日からは人数を減らして月曜日にも検査活動は継続するとのこと。

### 民間企業

#### c) Niche Cocoa 及び CHOCO MAC (旧 BD Associates から社名変更) :

先週は製造活動及び輸出ともに行われておりました。29日段階では都市封鎖の影響が出るかもしれませんが、双方の経営陣は、主要産業且つ食品企業という背景から停止はないのではないかと話をしてしています。

### ② その他アフリカ

タンザニア、カメルーン、シエラレオネ、ギニア共和国からのカカオ豆の輸出状況

上記はカカオ豆の輸出をしておりますが、今のところ、通常の輸出プロセスが進行しております。

### ③ 南米主要国 (ベネズエラ、エクアドル、ペルー)

輸出禁止ではないものの、主要な都市が移動制限、自宅待機になっていることから、港湾職員の不足、通関業者の不足などで新規の輸出手続き、また輸出済みの各種輸出関連書類 (BL、原産地証明、植物検疫証明書) 等の取得に時間がかかっています。輸出は行われているのですが、その処理能力は通常と比べ格段に落ちている現状。また今週から、一時止っていた国際輸送サービス (DHL 等) が再開され、必要な輸出書類の輸送が出来るようになっていきます。

### ④ マレーシア

#### a) ガンチョンココア社

3月18日から一時停止したが、その後、カカオ、チョコレートは生活必需品そのものではないものの、必需品の一部の原材料を同社が製造しているため、早期の再稼働の申請を関係省庁に提出し、現在は稼働再開した。

通常の 50%の従業員で現在はほぼ通常通り製造数量で稼働させているとのこと。

#### ⑤ シンガポール

##### a) オーラム社

シンガポールは4月7日より一層厳しい措置としてソフトロックダウンに移行。但し、ココア製造のオーラム社は食料品製造者として7日以降も通常通り、製造及び輸出活動共に稼働していく予定。

#### ⑥ インドネシア

##### a) ガンチョンココア社 バタム工場

インドネシア工場については、製造、輸出ともに稼働している。

\*弊社取引先からの情報をベースにしており、国全体の情報把握としては正確性に欠けますので、ご参考程度にご参照いただければ幸いです。

### 3、アフリカ開発銀行が促進する 6 億ドルの Cocobod 向け融資、生産者に将来の希望を提供(4/7)

カカオ生産者のアバビオさんがピックアップトラックの後ろに登り、車両に積まれた 64 kg のカカオの麻袋の在庫数量のカウントを開始します。「40 袋以上だ!!」と彼女は笑顔で、アシスタントの助けを借りてトラックから降りてきた。

彼女は、ガーナ東部地域のスフム地域にある多くのカカオ生産者の 1 人であり、業界の統括当局である Cocobod が 2 年前に剪定のパイロットプログラムを開始して以来、農業生産性の向上を通じて家族の収入を増やすことを望んで取り組んできた。

今回の実現したアフリカ開発銀行が推進する 6 億ドルの債権担保ローンのおかげで、Cocobod は今までパイロットプログラムで実験的に進めてきたプログラムを全国規模で拡大する予定。

昨年 11 月にヨハネスブルグで開催された 2019 アフリカ投資フォーラム中に署名された 7 年間返済の 6 億ドルの長期融資契約において、Cocobod はカカオ農場の大規模受粉、樹木の剪定、倉庫の建設、衰退するプランテーションの修復、地域のカカオ処理能力の増加に資金を提供します。

前述の樹木剪定パイロットプロジェクトに参加していた 49 歳のアバビオさんは、この計画をより大規模に展開する計画により、ガーナ全体のカカオ生産量が大幅に増えると考えています。「パイロットプログラムの前は、5 エーカーから 17~18 袋を収穫していましたが、剪定と授粉の後、59 袋に急激に増えました」と彼女は言う。今回の融資により、Cocobod はカカオの付加価値事業に投資し、国内での加工品製造を、現在生産されている収穫量全体の約 30%から 50%に引き上げたいと考えている。また、特に毎年病害にやられやすく、凡そ年間生産量約 200 トンほどが病害で減少している西部北部地域で、疾病管理を拡大する計画を立てている、と Cocobod の最高経営責任者であるジョセフボアヘンアイドゥーは説明する。

「今回の長期融資は、私たちが最も必要としているタイミングで獲得された。ガーナのカカオ部門の長期的な持続可能性にとっても、そして数十億ドル規模の世界的なカカオとチョコレート市場におけるガーナ産カカオのシェアを増やすことは重要です」と強調した。

世界で 2 番目に大きいカカオ生産者であるガーナと最高の生産者であるコートジボワールは、合わせて世界の供給量の 70%近くを占めており、アイドゥー氏は、融資の約 50%はカカオ農場の修復に向けられると語った。Cocobod はガーナのカカオ産業を統括し、カカオの収量を改善する農業指導と資材の提供で農家を支援しています。この新しい投資により、国はその年間生産量平均 85 万トンから 100 万トンを超えると予測しています。ガーナのココア部門は、約 800,000 の農村家族を雇用しており、西アフリカの国のために毎年約 20 億ドルの外国為替を稼いでいる。

#### 4、ガーナカカオ豆着荷状況 《3月19日現在の集荷は一転、昨年をやや下回るレベルに減少》(4/7)

政府のカカオ監督機関であるココボードによると、10月1日の新シーズン開始後から2月27日までのカカオ集荷数量は688,088トンとなった。昨シーズンは3月28日までの集荷数量で693,685トンであった為、2月末段階では昨年をやや上回る数量での集荷が進んでいたが、3月に入り集荷数量が減少したことで、総量としては昨年を下回る水準になってきた。

#### 5、コートジボアール群衆がコロナウイルステストセンターを破壊(4/6)

4月5日の日曜日にアビジャンのコートジボワール市の労働者階級の居住者は建設中のコロナウイルス試験センターを破壊したと警察と保健省の当局者は言った。

ソーシャルメディアに投稿された動画は、建物を解体する数十人の人々を示し、「私たちはそれを望んでいない！」この事件は、国の商業首都である人口500万人の都市のYopougon地区で起こりました。

地元の人々は、自宅に近すぎて住宅地の真ん中にあると思ったため、このセンターに反対してデモを行いました。1人の警察官が匿名の条件でAFP通信社の記者に話しました。

しかし、まだ建設中であるこの建物は、ウイルス患者のための治療センターとして意図されたことは一度もなく、検査センターとして使用される予定でした。また、センターには名前も付けないように要請していたと保健省の当局者は言いました。

これは国内でのCOVID-19の発生に関連した最初の暴力事件であり、コートジボアールは少なくとも公式の数値によれば、これまでのところ、ウイルスによる影響は比較的受けておらず、これまでに3人の死者を出し、261人の症例数を記録する程度の段階である。それでも、当局は今後の拡大を懸念し、集団発生を治療する彼らの能力を増やそうとしている。

3月23日、アラサーンワッタラ大統領が非常事態宣言を発表しました。

アビジャンはすでに検閲下に置かれており、事実上国の他の地域から遮断されており、全国的な夜間外出禁止令が施行されています。学校、教会、必須でない店は閉鎖され、集会は禁止されました。

土曜日、保健当局はウイルスの蔓延を遅らせるために人々が公共の場所でマスクを着用することを勧めました。

しかし、これまでのところ、政府は完全な封鎖を命令していません。先週の火曜日、政府はパンデミックの経済的および社会的影響に取り組むための26億ユーロの計画(28億米ドル)を発表しました。これは、2020年に国の成長率を3.6%に半減すると予測されています。

**\* 配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。**

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)